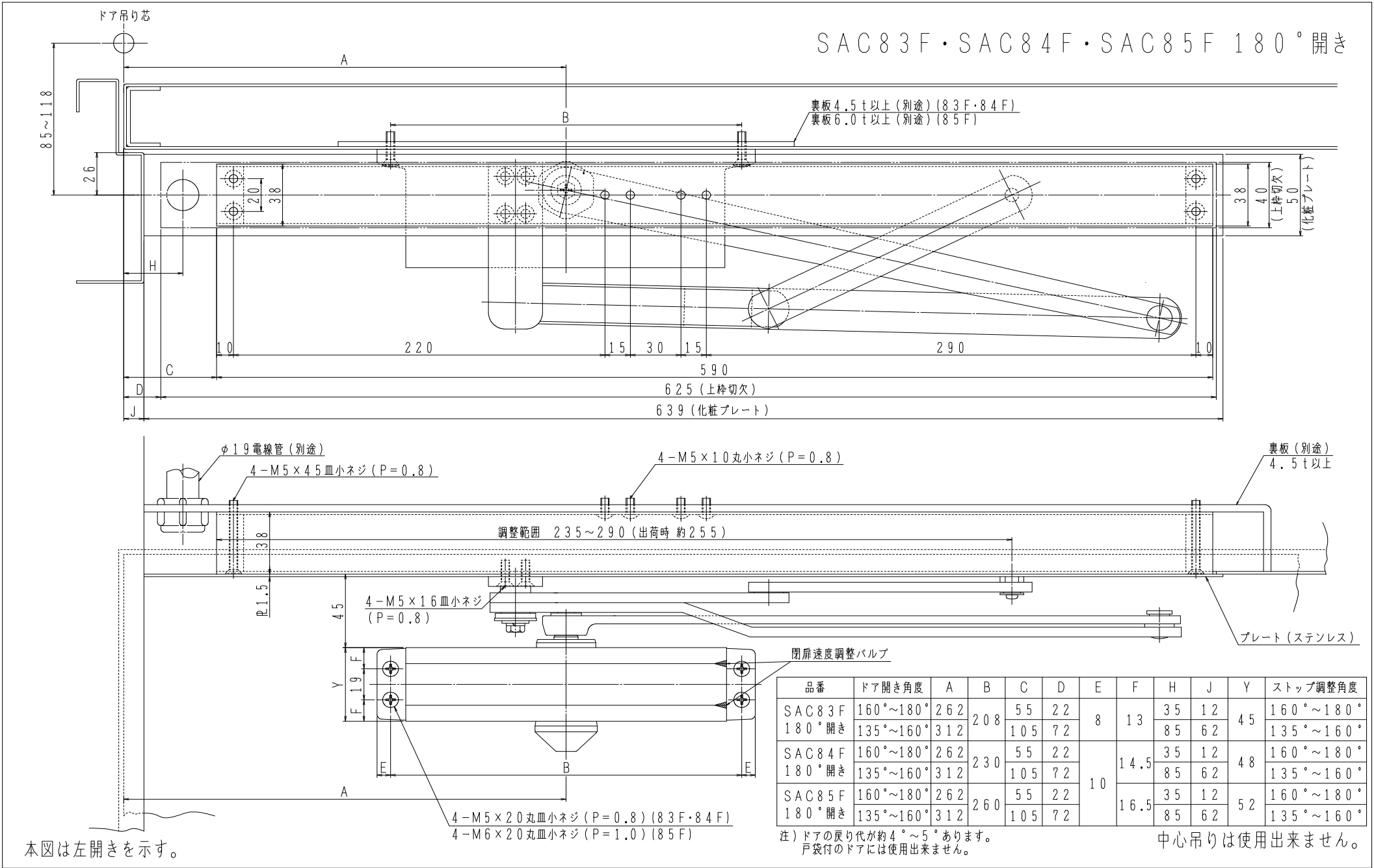
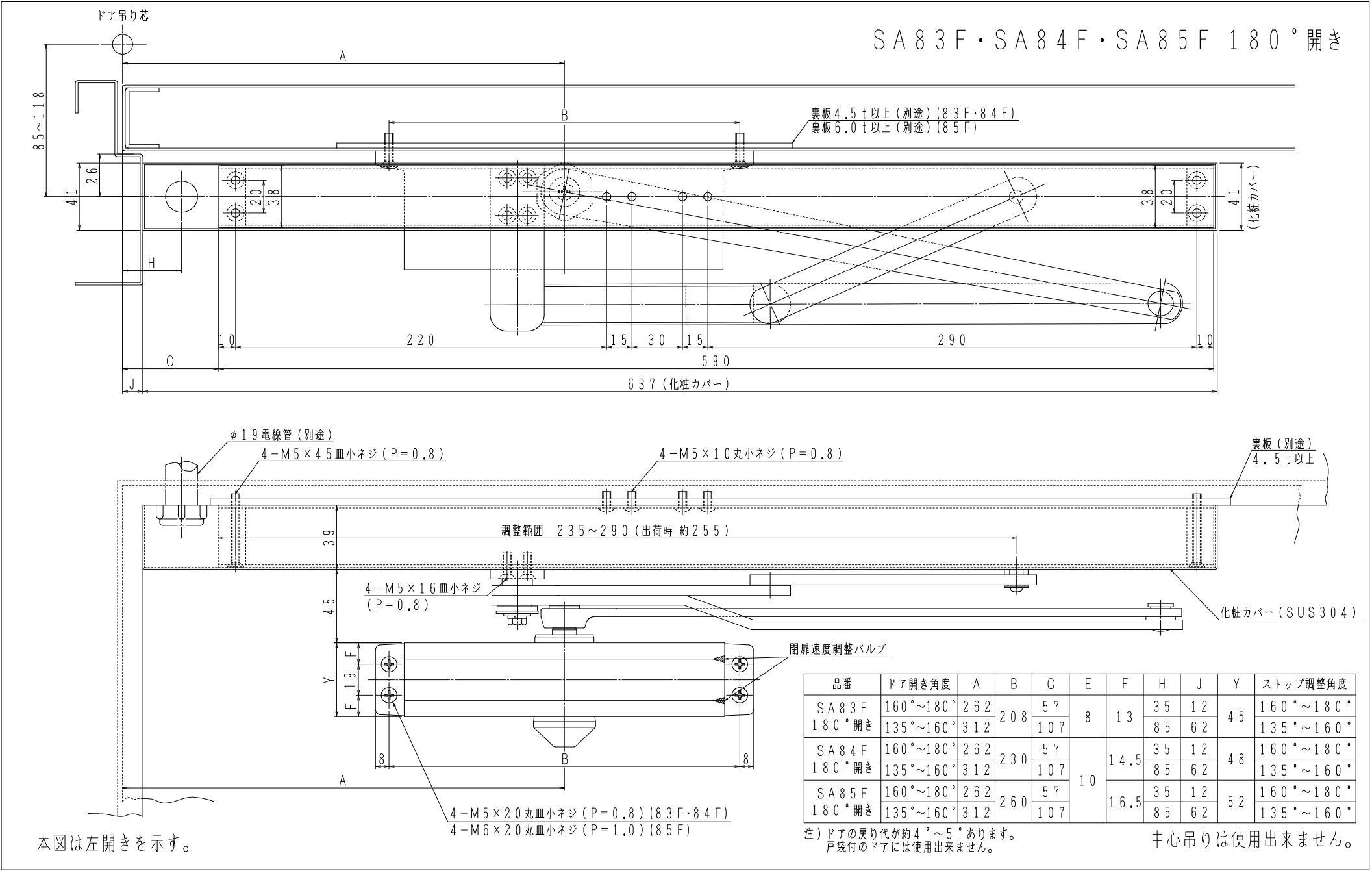


通路側上枠面付型    S A 8 3 F    ・ S A 8 4 F    ・ S A 8 5 F       1 8 0 ° 開 き

通路側上枠格納型    S A C 8 3 F ・ S A C 8 4 F ・ S A C 8 5 F       1 8 0 ° 開 き



■

取付順序

本図はS A 8 3 F ・ 8 4 F ・ 8 5 F 用の左開きを示します。

①スモクローザ本体を上枠に取付ける。



②カバーをスモクローザ本体に取付ける。



③座板をスモクローザ本体に取付ける。



④ドアクローザ本体をドアに取付ける。



⑤第 1、第 2 速度調整バルブを全閉にし、モンキーレンチで主軸を下図矢印の方向へ 20 度～30 度程度回転させる。



⑥ドアクローザ本体にアームセットを取付ける。



⑦ドアを 15 度～20 度開いた状態で座板とアームセットを結合する。



⑧さらにドアを 45 度付近まで開き、スモクローザ本体とアームセットを結合する。  
(結合する際に付属のワッシャをスモクローザ本体の軸の彫り込みに合うように間にかませる。)



●閉扉速度調整  
第 1、第 2 速度調整バルブにて適切な閉扉速度になるよう調整する。



●ストップ角度調整  
調整方法は下記を参照。

※S A C 8 3 F ・ 8 4 F ・ 8 5 F の取付順序も同様です。  
(カバーがプレートに変わります。)

■

注意事項

- スモクローザ本体が正常な作動をしなくなった場合は、防災上危険ですので、速やかに修理、交換して下さい。  
防火・防煙ドアの保持力が弱くなった場合は、少しのショックでストップが外れ、ドアが閉鎖します。指を挟んだりドアとの接触を起す危険があるので、速やかに修理、交換して下さい。
- 防災上の安全のために、次の点に留意して下さい。  
外観点検－3 ヶ月に 1 回  
(ネジにガタがないか、ストップ保持力が正常か。)  
機能点検－1 年に 1 回 (通電テストによる正常作動の確認。)
- ドアクローザ本体は油が漏れるとドアが勢いよく速く閉まり、指をはさんだりドアとの接触転倒等による怪我をする危険があります。  
本体に油のにじみや洩れが発生し、速度調整しても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は速やかに修理、交換して下さい。  
強制的な閉扉操作は油が洩れる等の不具合の原因になります。閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
- 速度調整をする場合、緩め過ぎると油が洩れるので、調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。  
第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。  
※90 度から閉まる迄の適正閉鎖時間は 5 ～ 8 秒です。  
(ドア幅が 900 mm の場合)
- 水のかかる場所 (プール、浴室、外部等) には使用しないで下さい。
- 強風が吹いている時やドアを急に開閉すると、指をはさんだりドアとの接触事故を起こす危険があるので注意して下さい。  
開放限度角度以上に開くとドアや壁等の損傷、本機が破損しドアが転倒する大きな事故が発生する危険があります。
- ドア及び金物にぶら下がって遊ばないように注意して下さい。
- 開いているドアに寄り掛らないで下さい。
- 本機取付の裏板は取付図面に記入してあります。図面に記入している板厚以上のものを強固に取付けて下さい。
- 本機は戸袋のない常開の防火・防煙ドアに使用して下さい。  
ドアの戻り代は約 4 度～5 度になります。
- 動作確認ランプの表示が必要な場合は、黄色線を使用して下さい。
- 戸当りゴム (別途) は必ず設置下さい。
- 持出吊りのみの仕様になります。中心吊りには使用出来ません。

■

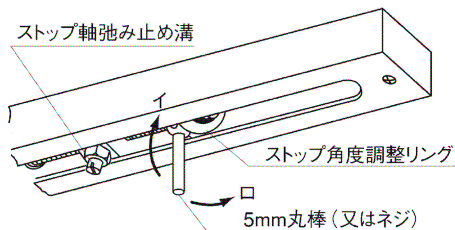
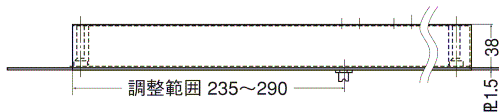
仕様

型式	通路側上枠面付型	SA83F ・ SA84F ・ SA85F    180°開き
	通路側上枠格納型	SAC83F ・ SAC84F ・ SAC85F    180°開き
防災評定番号		BCJ-DCS (S-T)-7
動作形態		非常時通電型
定格電圧		DC24V
定格電流		250mA
使用電圧範囲		DC19. 2～DC28. 8V
通電時間		100msec
使用温度範囲		-10℃～+50℃
接点容量	ランプ負荷	2A
外部配線		3線式 (順次送り可能)
リード線		600V2種ビニール絶縁電線 赤・白・黄各1本    150mm
リセット方法		手動復帰
重    量		2. 8kg (ドアクローザ除く)
回    路		 ※極性なし

■

ストップ角度調整方法

ストップ角度の調整は 5mm 丸棒 (又はネジ) をストップ角度調整リングに差込み、矢印方向に回転して調整して下さい。  
イ方向……ドアストップ角度が小さくなる  
ロ方向……ドアストップ角度が大きくなる  
(調整範囲は各々の納り図をご参照下さい。)



■

リセット方法

通電動作後は本機吊元側にある復帰板を矢印方向に押して、本機をリセットして下さい。  
(リセットしないと防火・防煙ドアは保持されません。)

